

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2017年2月14日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

国保料が大幅値上げ！ 北海道の国保都道府県単位化

説明会に54人が参加 道が国保運営方針原案（案）などの説明

一人当たり保険料 ほとんどの保険者が値上げ、2.4倍になる保険者も

| | 必要保険料 (納付金) A | 2015年度 保険料B | 伸 び A/B | 備考 |
|-------|------------------|----------------|------------|------|
| 北海道 | 113,546円 | 92,244円 | 123.1% | |
| 音威子府村 | 203,694円 | 83,615円 | 243.6% | 伸び最大 |
| 鹿部町 | 121,472円 | 132,172円 | 91.9% | 伸び最小 |
| 札幌市 | 103,945円 | 87,760円 | 118.5% | |
| 旭川市 | 99,135円 | 78,386円 | 126.5% | |
| 函館市 | 98,986円 | 90,039円 | 109.9% | |
| 釧路市 | 98,408円 | 83,690円 | 117.6% | |
| 帯広市 | 108,858円 | 98,544円 | 110.5% | |
| 北見市 | 114,270円 | 101,261円 | 112.8% | |

道生連は、一人当たりの国保料について、道が公表した「納付金による保険料収納必要額」と実際の「2015年度の保険料（税）調整額」を各保険者ごとに比較しました。その結果、北海道全体で23.1%の値上げで、ほとんどの保険者が値上げになり（市部は全て値上げ）、最大2.4倍の保険者もあります。

北海道の説明との違いは「収納必要額」

北海道は、昨年11月、国保都

道府県化に伴う各保険者の保険料（仮算定）を公表し、一人当たりの保険料は「納付金による保険料必要額」と「2017年度保険料収納必要額」の比較で、増加する市町村と減少する市町村があると説明していました。

増加した市町村85市町村／減少した市町村92市町村

「2017年度保険料収納必要額」は、現行保険料に単年度赤字や法定外繰入などを加えた金額です（右図参照）。道内では、単年度赤字や法定外繰入している保険者が多いため、保険料が減少する市町村が多くなることになります。

単年度赤字
繰上充用・収支マイナス分

法定外繰入
赤字補填・保険料緩和分

保険料軽減額
基盤安定負担金繰入分

H27保険料収納額
現年分+還付未済

払える国保料にする運動を

国は、国保は「年齢が高く医療費水準が高い」「低所得者が多い」「保険料負担が重い」となど構造的な問題がある、そのため、都道府県単位化を行い、新たに3400億円の財政負担するとしています。しかし、北海道の試算では、ほとんどの保険者が値上げになります。3400億円では足りません（知事会は1兆円を求めています）。今後、都道府県単位化による保険料値上げの影響を伝え、払える保険料を求める運動を広げることが必要です。

北海道国民健康保険運営方針原案（案）など説明 パブコメは3月



来年4月からの国保が都道府県単位化されますが、国保料の値上げや徴収強化などの不安が広がっています。北海道社保協と道生連は、2月14日、道の担当者を迎え、「国保都道府県単位化に関する説明会」が行い、全道各地から54人が参加しました。

道の担当者は、国保の都道府県単位化の概要や「北海道国民健康保険運営方針原案（案）」、特に各保険者の納付金仮算定の流れなどについて説明。質疑も行われました。保険者努力支援制度（3400億円の内7～800億円）の内容に

よって、保険者の保険料がさらに変わる可能性もありますが、現時点では不明との回答でした。資料は、北海道国保運営協議会のホームページを参照ください。 <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kki/uneikyougikai.htm>

3月にはパブコメも行われます。北海道社保協と道生連は、改めて、運営方針原案（案）を分析し、北海道に対して、懇談、要望することとしています。